

平成 26 年 9 月 23 日

南の風 78

南部ミニバスケットボール連盟

会長 藤原 敬一

77号の続きです。4Qしか書いていません。1～3Qまでの流れはもちろんあります。しかしここでは、4Qの中で吟味してみたいと思います。いろいろ見方があります。正解を探すというのではなく根拠に基づいて探ってみましょう。

まず、A氏の「〇〇チームの◇番のノーマークシュートのミスがすべて」という意見ですが、点数の流れとしては、みなさん異論はないでしょう。しかし、味方のシュートに付随するオフェンスリバウンドや、一連のオフェンスの推移をみると、このシュートミスが大きな要因ではない気がします。

次に、B氏の「〇〇チームのタイムアウトが早すぎるのと、指示が不徹底だった」という意見ですが、6点差でのタイムアウトの請求はどうだったでしょう。残り時間3分強でした。タイムアウトの取り方は非常に難しいものです。特にミニバスは前半1回、後半1回です。私は基本的にはタイムアウトはヘッドコーチが取りたい時に取るのが正しいと思います。選手のメンタル、ゲームの流れ、残り時間、オフェンスやディフェンスの出来等を瞬時に判断して決断します。しかし、結果的にタイムアウト後のゲーム展開はうまくいきませんでした。結果論と言われればそれまでですが、ヘッドコーチは流れを変えられなかった反省はすべきです。B氏の言うとおりの「指示が不徹底だったのでは」、はたまた、的確な指示がだせなかったのか、自分自身でフィードバックする必要があります。

最後に、C氏の「〇〇チームのオフェンスに問題がある。オフェンスの指示があいまいだったのでは」という意見です。1～3Qまでは〇〇チームは10点リードです。細かい点数の推移はわかりませんが流れとしては悪くなかったはずで、△△チームは4Qからオールコートのプレスに出ます。1回パスカットをされ、得点を許し8点差になります。その後もしつこくプレスします。C氏が言うように運びも含めて、どうオフェンスすべきか、指示が徹底しなかったのでしょうか。それとも指示は出したが選手が浮き足立ち、あわててしまったのか。このところはわかりませんが、オフェンスが機能しなかったことは事実でした。

私の考えを書きます。まず4Qが始まる前に、当然相手がプレスでくることは予測できたはずで、運びについては、なんらかの指示はしておくべきです。(指示したかはわかりません。) そうすれば、あのタイムアウトはいらなかったかもしれません。(もちろん緊急事態はあります。) 次に、ガードに信頼がおけなければ、あそこのタイムアウトも止むを得ないでしょう。切羽詰ってからは、パニックになります。どう指示を出したかはわかりませんが、誰と誰がどうやってボールを運ぶのかを徹底したかったです。そしてできれば、パスミート(ホップアウトを含めて)をしっかり指示し、エントリーまで徹底してフロントコートにボールを展開したかったです。

いずれにしても、〇〇チームはオフェンスから崩れ、「しっかりオフェンスができないため、ディフェンスも頑張れない」といった構図になってしまったのではないのでしょうか。(あくまで私見です。)

「観れども見えず」と書いたのは、ゲームの流れを見る時に、ただ漠然とコートに表れた事象だけで判断しては、見えてこないことがたくさんあるということです。